

東京外國語大學史

獨立百周年(建學百二十六年)記念

1999

西ヶ原キャンパス



西ヶ原キャンパス全景

府中新キャンパス



2000(平成12)年8月に移転する府中市朝日町3丁目に建設中の研究講義棟(1999年8月撮影)▲
研究講義棟(完成予定図)▼





①研究講義棟、②事務局棟、
③講堂、④附属図書館、⑤アジア・
アフリカ言語文化研究所、⑥学生会館、
⑦留学生日本語教育センター校舎棟、⑧国際交流
会館等の宿泊施設、⑨屋内体育・サークル棟



学生会館(完成予定図)



附属図書館(完成予定図)



校章由来

1897(明治30)年に東京高等商業学校附属外国語学校として創立された本学が、1899(明治32)年、東京外国語学校として独立する際に、神田乃武校長をはじめ各教官協議の結果、この徽章を制定した。炬火(たいまつ)は、「光は世を照らす」ことを意味し、Lはラテン語のLinguaの頭文字をとった。左右の羽翼については、独立当初に教授した8語学科を意味しているといわれている。



- ▲創立60周年記念講堂のステンドグラス時計
- ◀西ヶ原キャンパス正門



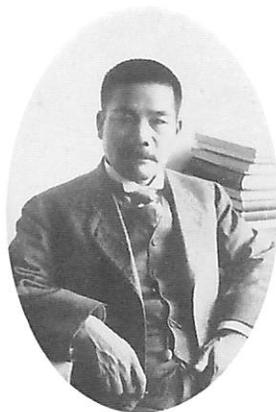
- ▼国際交流会館(右)、留学生日本語教育センター(左)





写真でたどる東京外国語大学の歩み
— 学校施設と歴代校長・学長

写真上・一九〇三(明治三十七)年一月、神田区錦町三丁目一三番地に新築成った本校舎。
下・分教場として使用された高等商業学校構内の旧校舎。

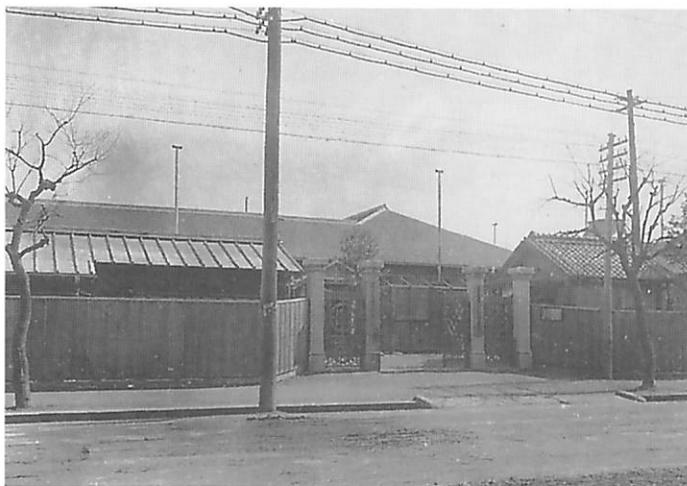


校長事務取扱・上田万年



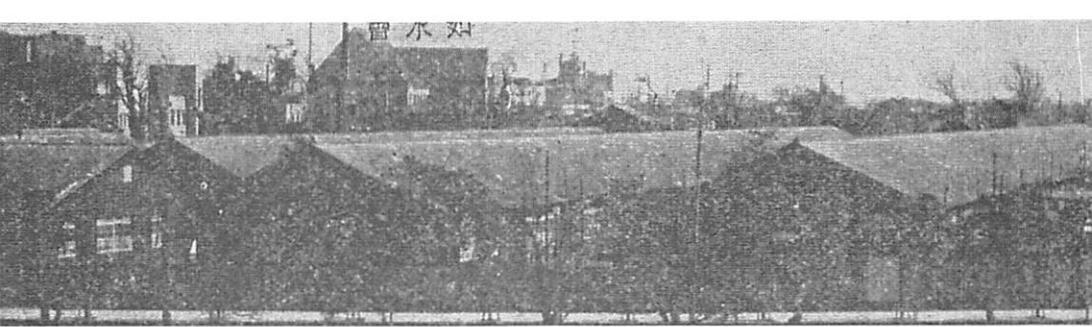
初代校長・神田乃武

写真右・一九一三(大正二)年二月二十日
の神田大火で錦町本校舎および分教場が
全焼。同年九月五日、本校舎敷地に仮校
舎を新築する。
右中・仮校舎完成までの間、文部省修文
館および東京高等商業学校分教場にて一



時授業を行う(写真は文部省修文館)。
右下・一九二二(大正十)年四月十日、麴
町区元衛町一番地に完成した新校舎
(現・気象庁付近)。
左ページ下は新校舎正門。





第3代校長・高楠順次郎



第6代校長・長屋順耳



第5代校長・茨木清次郎



第4代校長・村上直次郎

写真上・一九二二(大正十二)年九月一日の関東大震災により元衛町の校舎を焼失。翌年三月三日麴町区竹平町一番地に仮校舎を新築する(現・毎日新聞社)。
下・竹平町仮校舎正門。

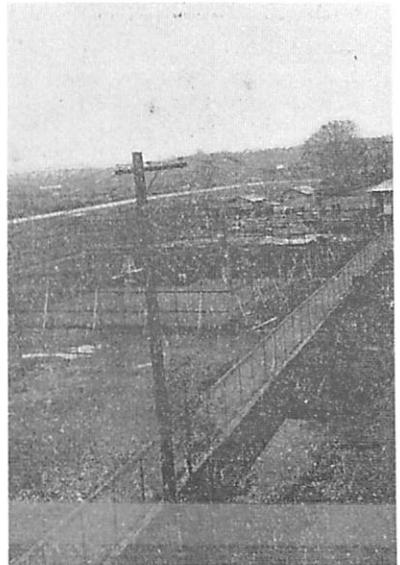




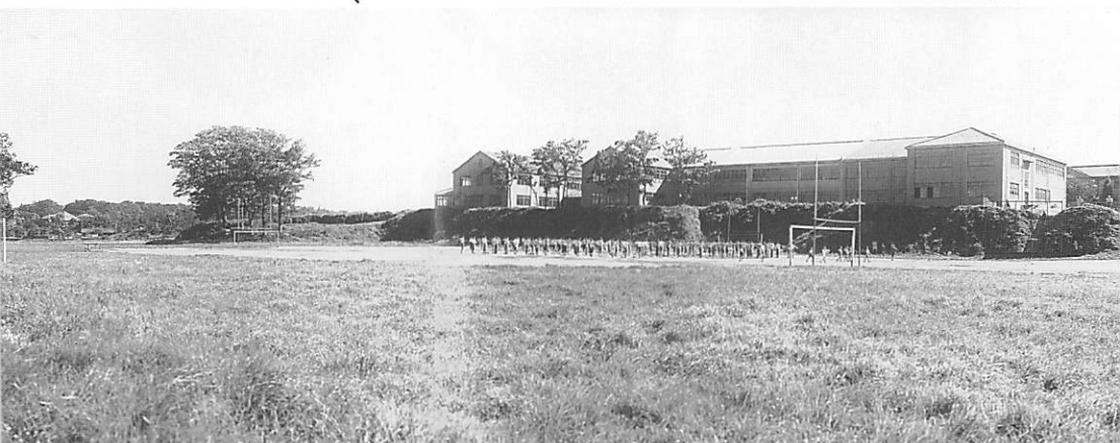
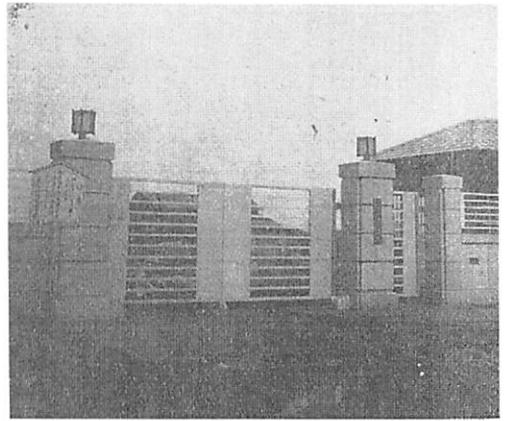
第8代校長・石井忠純



第7代校長・戸沢正保



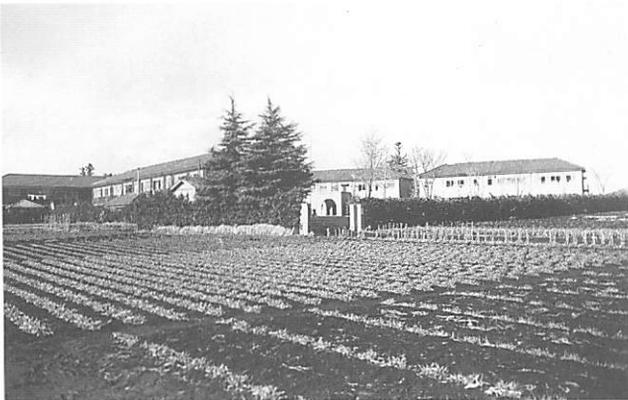
写真右上・一九三五(昭和十)年頃の校舎新築地の状況。テニスコート、門衛所が見える(現・西ヶ原キヤンパス)。
右中・同じ頃の校舎新築地の正門、右側建物は門衛所。
下・一九四二(昭和十七)年頃の校舎。四五年に戦災で焼失した。





第9代校長・大畑文七

第10代校長・井手義行
(昭和24年5月～東京外国語大学学長事務取扱)



写真上の右・上石神井の木造校舎。現在は東京芸術大学の学寮となっている。上の左・上石神井の智山中学校校舎。現在は早稲田大学高等学院の建物となっている。左中・一九四九(昭和二十四)、五〇年に新築された西ヶ原の木造校舎。左手の建物(大教室)は、上石神井校舎旧館を移築した。左下・上石神井校舎旧館の遠景。



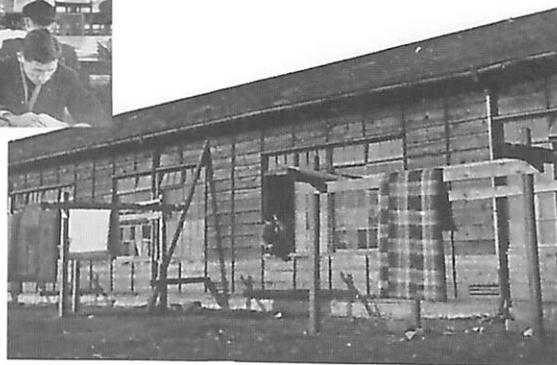
写真上・一九五三(昭和二十八)年頃の西ヶ原キャンパス全景(一九五五年三月英米学科卒業記念アルバムより)。
 下右・一九五五年頃の日新学寮。
 下左・図書館閲覧室。



第2代学長・岩崎民平



初代学長・澤田節蔵





第5代学長・坂本是忠



第4代学長・鐘ヶ江信光



第3代学長・小川芳男



写真上・一九六八(昭和四十三年)に起こった学園紛争時の落書き。
左・紛争で破壊された研究室。
右・同年竣工した体育館。





第8代学長・原 卓也



第7代学長・長 幸男



第6代学長・鈴木幸壽



写真左・一九八二(昭和五十七)年に発
足した視聴覚教育センター。
下・一九七九年竣工の新図書館。



第9代学長・中嶋嶺雄

